

## 経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に向け審議、活用した例 — 平成 24 年度の取組み —

### ① 人材養成

意見: 研究者養成の水準維持について

#### ●「共同災害看護学専攻」の設置(平成 26 年 4 月)に向けた取組み

文部科学省の平成 24 年度「博士課程教育リーディングプログラム」に採択された「災害看護グローバルリーダー養成プログラム」(補助金 3,030 万円)において、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学と 5 年一貫の共同教育課程である共同災害看護学専攻を設置するため、検討を進めるとともに、災害看護学の普及と構成大学の共通理解・共同連携の促進のための公開講座やセミナーを開催した。

#### ●「グローバル人材育成推進事業」の推進

文部科学省の平成 24 年度「グローバル人材育成推進事業」に採択され(補助金 1 億 1,442 万 6 千円)、グローバルヘルスリーダー育成の取組みを進めた。

本取組みを進めるために、グローバルキャリア支援室を設置し、ハーバード大学臨床実習やインペリアルカレッジ研究留学などの卒前海外研修を準備英語教育・メンタリングも含めたプログラムに再構築した。さらに過去の研修経験者と将来研修を希望する学生との情報交換を実施することで長期的キャリア支援の場を形成した。

### ② 大学間連携の推進

意見: 医学部又は歯学部を持つ大学との連携推進について

#### ●「大学の世界展開力強化事業」の推進

文部科学省の平成 24 年度国際化拠点整備事業費補助金「大学の世界展開力強化事業」に採択された「東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム」(補助金 6,000 万円)において、医歯学領域の世界展開力を強化する事業に取り組んだ。

本事業において、チュラロンコーン大学(タイ)、インドネシア大学(インドネシア)、ホーチミン医科薬科大学(ベトナム)の 3 大学から各国の歯学部学生を計 24 名招聘し、学生交流プログラムを実施するとともに、グローバルリトリート(学術会合)等の開催をとおして大学間交流を推進しネットワークの形成を図った。

#### ●協定の締結による他大学との連携強化

国内の医学部等を持つ東京医科大学大学院医学研究科など 3 大学との間で大学院学生交流に関する協定を結んだ。また国外では、大韓民国ソウル大学医学部、中国四川大学華西口腔医学院、台湾台北医学大学医学院と国際交流協定を締結した。

#### ●「大学間連携共同教育推進事業」による連携強化

文部科学省の平成 24 年度「大学間連携共同教育推進事業」に採択された「東京コンソーシアムを基盤とした大学院疾患予防科学コース設立」(補助金 6,169 万円)において、北里大学、お茶の水女子大学、学習院大学と連携し、疾患予防科学コース(博士課程後期)を平成 26 年度に設置するため、キックオフシンポジウムを開催した。

### ③ 広報体制の見直し

意見：広報体制の強化について

#### ● 広報部設置（平成 25 年 4 月）に向けた取り組み

学内及び学外情報の収集体制強化及び学外への適切な情報発信、学内広報の充実について改善を図るため、広報体制を大幅に見直し、広報部の設置に向けて検討を進めた。なお、平成 25 年 4 月に広報部を設置し、6 月より民間の外部アドバイザーを配置している。

### ④ 医療の多角化

意見：医療の多角化について

#### ● 医学部附属病院 腫瘍センターの設置

がんの集学的・包括的診療を行う場を提供するとともに、がん登録やがん相談支援業務、各種講習会などを通して啓発・教育活動を行い、がん診療の発展に寄与することを目的とし、医学部附属病院のがん治療センターと外来化学療法・注射センターを統合し、腫瘍センターを設置した。

#### ● 医学部附属病院 難病治療部の設置

従来から積極的に取り組んできた難病治療のノウハウを生かし、複数の診療科がチームとなって診療をトータルに進めるため、医学部附属病院に 5 つの先端治療センター（①膠原病・リウマチ先端治療センター②潰瘍性大腸炎・クローン病先端治療センター③神経難病先端治療センター④腎・膀胱・前立腺先端治療センター⑤頭頸部・頭蓋底先端治療センター）から成る難病治療部を設立した。

### ⑤ 両附属病院の連携

意見：医師と歯科医師の連携強化について

#### ● スポーツ医歯学センターの設置

医学部附属病院のスポーツ医学診療センターと歯学部附属病院のスポーツ歯科外来が連携し、スポーツ傷害及び疾病に対する集学的かつ先進的な検査、診断又は治療を実施し、スポーツ医歯学の先進医療技術の開発及びその普及等を行うため、スポーツ医歯学センターを設置した。

#### ● 睡眠障害に対する医学・歯学分野の連携

睡眠時無呼吸症候群や不眠症を含めた睡眠障害患者に対する医学・歯学分野における集合的・先進的な検査・診断・治療を実施するため、歯学部附属病院の歯ぎしり・いびき（無呼吸）外来を快眠歯科（いびき無呼吸）外来へと整備し、医学部附属病院快眠センターとの連携体制の充実を図った。

#### ● 口腔ケアにおける医学部附属病院及び歯学部附属病院の連携

従来から歯科衛生士によりボランティア的に行われていた口腔ケアについて、平成 24 年 9 月より両附属病院の連携のもとに、歯科医師・歯科衛生士のチームが、医学部附属病院の脳神経外科、老年内科、食道胃外科の入院患者さんの口腔ケアを開始した。さらに、周術期患者における診療連携についても検討を開始した。

## ⑥ 病院運営の改善

附属病院に勤務している教員及び医療技術職員の処遇改善について

### ● 医療技術職員の処遇改善に向けた取組み

医療戦略会議の下に医療技術職員処遇検討ワーキンググループを設置し、初任給基準を改正した。さらに引き続き、職階制度・昇格基準の見直しを行っている。

### ● 労働環境改善に向けた取組み

労働環境等の改善を図るため、医員及び薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士、放射線診断医、放射線技師、歯科技工士の増員を決定した。

## ⑦ 危機管理体制強化の取組み

意見：危機管理の重要性について

節電や自家発電設備の整備等による電源の確保について

### ● 復興関連事業に関する取組み

復興関連事業として、湯島地区の防災情報配信システムや非常用放送等の整備、国府台地区の井戸設備や太陽光発電設備の整備を行うことを決定し、危機管理体制強化のための取組みを推進した。

### ● 節電や自家発電設備整備への取組み

非常時における電源確保のため、自家発電設備の整備事業の実施を決定した。また、電気の使用状況や具体的な節電の取組例を記載したリーフレットを教職員及び学生に配布すると共に、学内(湯島地区)使用電力状況グラフを学内専用ホームページに掲載し、使用量を随時確認できるようにするなど、節電に努めた。